

# 若鮎の子

国頭村立 安波小学校

国頭村字安波601番地

TEL 0980-41-7556

FAX 0980-41-7558

学校だより 平成30年12月12日 第19号

文責：校長



## タイに行ってきました

先日11月16日(金)～11月20日(火)3泊5日の日程でタイに行ってきました。

日本とタイの修好130周年を記念して、子どもたちの交流を企画・運営している「(NPO法人)東アジア交流協会(本部東京在)」の皆様が、国頭村とタイの児童の交流を企画しているのです。

2017年度は、浦添市の児童とタイの小学生が作成した絵画の交換交流を行い、2018年度はタイの小学校で「日本・タイ友好交流盆踊り大会」を行い、タイの子どもたちに日本の盆踊りを体験してもらい、交流を深めるというのが大きな目的でした。

そこに国頭村から私が視察及び体験として参加させていただきました。

那覇空港からタイの首都バンコクへ直行便で飛び、バンコクから車で3時間、ミャンマーとの国境近くのカンチャナブリ県にある小さな集落に着きました。そこでは地元の小学生80名あまりが、私たち一行を迎えてくれました。第一印象は、目がキラキラと輝き、純粋さにあふれていることでした。

タイの子どもたちは、日本からの法被を着け、出店の焼き鳥、焼きそば、カレーライスを食べ、やぐらの周りでドラえもん音頭にあわせてなんとなく踊り、日本風の盆踊りを楽しんでいました。今回、私が沖縄から参加するというので、盆踊り大会のプログラムに「カチャーシータイム」が設定され、タイの小学生とカチャーシーを踊りました。日本語も英語も通じず、タイ語しか話さない子どもたちでしたが、沖縄の音楽にあわせ私がカチャーシーを踊ると、なんということでしょう。見よう見まねで踊り出すではありませんか！ポディーランゲージのすごさ、カチャーシーのすごさ、まさに、音楽は国境を越える瞬間でした。現地の先生たちも、日本の浴衣を体験しニコニコでした。タイは「微笑みの国」と表現されるように、出会う皆さんには柔らかい笑顔があふれていました。「ありがとう」の言葉も必ず両手を胸の前に合わせます。自然とこちらにも微笑みがあふれます。

安波小学校にもどって、安波っ子に「タイに行ってきました」と報告すると、位置関係が難しいようで、なんとなく理解してくれました。今後、国頭村の子どもたちとタイの子どもたちが、友好交流できるといいですね。国頭村の青い海と青い空、緑の山と川など体験してもらえたら、喜んでくださるのではないのでしょうか。

では、少しばかり画像で紹介します。

### 日本タイ・カンチャナブリ友好交流「日タイ交流盆踊り大会」

安波に似ているような



ハッピーでごきげん



和太鼓体験



カチャーシー



校長あいさつ



焼き鳥、焼きそば  
ゴーヤーチャンプルー



映画「戦場にかける橋」



寺院がたくさん

